

平成30年度（公社）大気環境学会事業計画

（平成30年7月1日から平成31年6月30日まで）

1. 大気環境に関する普及啓発事業（公益目的事業）

1.1. 会誌等の発行事業

大気環境の学会誌「大気環境学会誌」及び英文専門の「AJAE(Asian Journal of Atmospheric Environment)」の発行を通じて大気環境に関する情報の普及啓発を行い、もって学術及び文化の発展に寄与し、大気環境保全のために資することを目的として実施する。

(1) 大気環境学会誌の発行

機関誌として「大気環境学会誌」を年6回発行する。同誌には、研究論文、総説、入門講座等を掲載する。

なお、平成31年1月及び3月発行予定の第54巻1号と2号は従来どおり冊子体として発行し、平成31年5月10日発行予定の第54巻第3号から、電子ジャーナルに移行する。

また、本法人のホームページ（J-STAGE）に同じ内容の情報（一部を除く）を掲載し、不特定多数の方にも閲覧可能とする。

(2) AJAE(Asian Journal of Atmospheric Environment)の発行

英文専門の学会誌であるAJAEには、主に日中韓三ヶ国の大気環境学会会員から投稿された大気環境に関する英文の論文を掲載する。AJAEは、年4回発行する。また、本法人のホームページに同じ内容の情報を掲載し、不特定多数の方にも閲覧可能とする。

1.2. 年会、シンポジウム及び講演会等の開催事業

大気環境に関する年会、シンポジウム及び講演会等の開催を通じて、大気環境に関する情報の普及啓発を行い、もって学術及び文化の発展に寄与し、大気環境保全のために資することを目的として実施する。

(1) 年会

第59回大気環境学会年会を以下の日程で開催する。

会 期 : 平成30年9月12日（水）～14日（金）

会 場 : 九州大学筑紫キャンパス
福岡県春日市春日公園6-1

学 会 長 : 大原利眞（国立環境研究所）

年 会 長 : 鶴野伊津志（九州大学）

年会事務局 : 九州大学応用力学研究所 大気環境モデリング分野内

内 容 : 研究成果の発表（約400件を予定）、特別集会（講演会）、分科会の発表、

環境機器展等を行う。

(2) シンポジウム及び講演会

年会とは別に、各委員会や各分科会が大気環境に関するシンポジウム及び講演会を実施する。

(3) 60周年記念事業

当学会の前身である大気汚染研究協議会が設立されてから60周年を記念して、平成30年から平成31年に、60周年記念事業を計画・実施する。

1.3. 表彰活動事業

大気環境に関する研究の表彰活動を通じて大気環境の研究を振興し、更なる普及啓発、学術及び文化の発展に寄与し、大気環境保全のために資することを目的として実施する。本法人が、表彰活動として実施する内容は、以下のとおりとする。

(1) 大気環境学会賞

会員2名以上の推薦による受賞候補者の中から選出された優秀な人に学術賞、功労賞、進歩賞、技術賞を授与する。

- ① 学術賞：国内外において学術上、ならびに社会的に顕著な業績をあげた人
- ② 功労賞：本法人または地域・社会に対して多大な功績をあげた人（年齢55歳以上）
- ③ 進歩賞：学術上優れた業績をあげた若手研究者（年齢40歳以下）
- ④ 技術賞：技術的に優れた業績をあげたか、或いは技術の普及に著しい功績をあげた人

(2) 大気環境学会論文賞

「大気環境学会誌」及び「AJAE」に掲載された独創性の高い原著論文、及び優秀な技術調査報告を対象とし、着想の独創性・新規性、研究手法の独創性・新規性、学術的・社会的な重要性、論文の完成度（「学生若手部門」の場合には、将来の発展性）を鑑みて選考する。

1.4. 運営等に関する会議の開催

- (1) 第59回総会を平成30年9月13日（木）、福岡県春日市において開催する。
- (2) 理事会及び常任理事会を開催し、当学会の運営に係る事項を審議する。
- (3) その他、当学会の運営に必要な会議を開催する。

1.5. 委員会の開催

- (1) 倫理委員会を開催し、本法人に係る倫理問題について検討する。
- (2) 編集委員会を開催し、大気環境学会誌の企画・編集を行なう。
- (3) 国際交流委員会を開催し、国外の大気環境研究者との学術的交流を進めることにより国際交流活動の推進を図る。
- (4) 学会賞選考委員会を開催し、学会賞候補者を選考する。

- (5) 論文賞選考委員会を開催し、論文賞候補者を選考する。
- (6) 広報委員会を開催し、ホームページ等を活用して社会に対して学会活動等を広報する活動の推進を図る。
- (7) 企画運営委員会を開催し、大気環境に関する事業活動の企画運営を行い、財務改善を図る。
- (8) 産官学民連絡協議会を開催し、関連業界、国・自治体、大学、民間等との連携を図る。

1.6. 分科会の活動

各分科会における調査研究、講演会、シンポジウムの開催等の活動を推進する。

1.7. 支部の活動

総会、講演会、セミナーなどの各支部の活動を推進する。

1.8. 調査研究事業

大気環境の専門家である本法人の会員で構成される学会本体、分科会、または研究会などが行う調査研究を推進する。

また、公益性のある団体が募集する研究助成あるいは調査研究事業（以下、「公募研究等」という。）に積極的に応募することを推進する。なお、公募研究の応募にあたっては、「公益社団法人大気環境学会外部受託研究に関する内規」に従い、予め常任理事会の承認を得ることとする。